

極寒？の砂浜探検に挑戦

地球環境基金のLOVEBLUE助成事業で、やってみたいメニューの一つに冬の砂浜を歩いてみる「里海ウォーキング」を挙げています。ようやく今年初めて実現しました。地元の人ですら気づかなかった、どんな発見があったのでしょうか？

地球環境基金
LOVEBLUE助成



発行：NPO法人
能登半島おらっ
ちゃんの里山里海
発行日：2021 年春

3.2 kmの砂浜を彦神社までの延長チホテルから高倉10名が集結、ビーチホテルからの男性海岸に洪めの男性日(日)、鉢ヶ崎



海岸を歩いた後は、焚火を囲んでコーヒーを飲みながら、海岸を歩いて感じた事などを話し合いました。今回は「冬の海

極寒のはずが4月並みの温かい一日となってしまった2月14日(日)、鉢ヶ崎

おらっちゃんの里海
ウォーキング

学びながら
楽しむ

歩いてみました。散策時間は1時間程度。海岸には、きれいな貝や面白い形の流木、海藻、魚の死骸などが転がっていて、非常に興味が引かれました。ただ残念だったのは、ハンゲル文字のプラスチック容器など、国内外のごみがあったことです。



大満足の企画でした。が、今回は本来の極寒の中で探検してみたいものです。



「じゃないね！」が一番の感想でした。本来は、海は鉛色で、海岸には襲い掛かるように大波が押し寄せ、雪が顔に突き刺さりまします。ただ海が荒れた後は、海岸にカジメやアカモク、アオサなど、さまざまな海藻が寄せてきます。お昼は、この時期の海藻を使ったお料理を里山里海食堂へんざいもんさんに提案してもらいました。メインは「海藻しゃぶしゃぶ」の一人鍋です。さらに「カジメのかす汁」、そして加賀料理ではあります。私たちがNPOが育て収穫した「のと115」のシイタケが入った「治部煮風煮物」などです。ご飯は、耕作放棄された田んぼでNPOが育てた「コシヒカリ」(おかわり自由)です。

アサギマダラ調査

・5月30日(土) ・31日(日)

狼煙漁港と川浦海岸でマーキング調査を実施しました。今年はコロナウイルスの影響で外出を控えたためか、屋外のイベントということもあり、2日間で53名の方が参加し、早朝にもかかわらず小学生も多数参加してくれました。マーキングできたのは、全部で18頭です。



百万石 蝶談会さん
がまとめた20年の調査結果によると、徳島県阿

南市から珠洲へ飛来した蝶があったそうです。珠洲でマーキングした蝶は、どこへ飛んで行ったのでしょうか？

砂ガニ調査

・8月2日(日)

飯田小学校の6年生親子会 35

名が鉢

ケ崎野

営場で

キャンプ

プを行

い、その

体験プ

ログラ

ムとし



て私たちが行っている砂ガニ調査に参加してくれました。昨年までは朝の早い時間帯でしたが、今年には午後2時の集合で調査を実施。このためか、2匹しか捕獲できませんでした。それでも子どもたちは、のと海洋ふれあいセンターの東出さんの説明に目を輝かせていました。

おらっちゃんの里海 釣り大会

・10月31日(土)

今年も好天

に恵まれた釣り大会です。会場となった蛸島漁港には、珠洲市在住の親子など21組が参加し、キスとアブラメで釣果を競いました。

残念ながらアブラメは釣れず、

代わりの大物

賞として 33

cmのカレイ

が釣れました。

釣りあげた篠

原暢・大智チ

ームは、副賞

の出刃包丁で



おいしく調理していただけたでしょう。か？キスの大物賞は、22・2cmを釣ったチームが2

組あり、重さ

で勝負とな

りました。そ

の差5gで

新出雄基・海

羽チームが

ゲットしま

した。



優勝の栄冠は、キス5匹を釣った新出勝秀・海龍チームに輝きました。副賞はエアーマットです。

キャンプにも使えますよ。楽しんで下さい。表彰式の後、里山里海食堂へんぎいもんで、おにぎりとけんちゃん汁などをいただきました。

今回は、石川県の生涯学習番組「ふれあい空間いしかわ」の取材も入り、今年1月16日(土)に放送されました。釣りを楽しんだ後は蛸島漁港を清掃し、きれいになった漁港で記念撮影です。



みんなで
守る

おらっちゃんの
クリーンビーチ

・6月23日～7月23日

今年も5校がクリーンビーチに協力してくれました。このうち宝立小中学校は、残念ながら波が高く天候不順だっ

学校名	正院小	みさき小	直小	大谷小中
参加人数	55名	32名	44名	27名
プラスチック	10.5kg	28.4kg	55.9kg	61.8kg
発泡スチロール	20.kg	1.6kg	2.4kg	1.96kg
金属類	2.6kg	0.4kg	8.4kg	9.53kg
ビン類	0.0kg	2.1kg	7.6kg	1.94kg
その他	4.9kg	18.1kg	9.7kg	7.0kg

たため、今年は見送られた（参加4校の漂着ごみ収集状況は表の通り）。収集したごみの総量は、236.83kg。一番多いのはプラスチック



6月23日 正院小学校



6月29日 みさき小学校



7月4日 直小学校



7月23日 大谷小中学校

系のごみです。外国からのプラスチック系容器（ハンゲル文字が多い）を、必ずどこかで拾います。海にはいろんなものが捨てられ、流れ着きます。波の状態によっては、ごみが多く寄せたり、逆に波がさらっていったりします。子どもたちへのアンケート調査では、みんなが「海だけでなく川にもごみを捨てない」「あつたら拾う」と答えてくれました。「防犯カメラを付ける」というユニークな回答もありました。子どもたちがいつまでも、海や川を大切にしたいという気持ちを忘れないでいてくれることを願います。

里山里海
連環を学ぶ

おらっちゃんの
森づくり

森づくり

・10月17日（土） 2019年から主催を、炭焼きを中心に「菊炭の山里づくり」を目指すNPO法人奥能登日置らいに移し、私たちは共催者としてクヌギの植林活動に関わり、応援し続けることにしました。新型コロナウイルス感染予防の観点から、市外から来ていた

くのは遠慮しようという話も出ましたが、めだか交通さんのコロナ対策を徹底したバスで、今年も金沢方面から6名の方に来ていただきました。途中、飯田小学校3年生親子会39名も乗せ、植林参加人数は緑丘中学校1年生55名、一般の方やスタッフなど総勢180名となりました。植林したクヌギは300本です。10年後には伐採してお茶炭になります。





「自然資源を守り 持続的に活かす」

理事長・加藤秀夫



能登半島には豊かな里山里海があります。しかし、人手が入ってこそ自然を維持し、自然の恵みを受けることができます。自然環境を保全し、生物多様性と人との関わりを深め、自然資源を活用した仕事創出、産業形成や人材育成が我々の活動目標です。

生き物調査

「水温や溜池の環境変化とゲンゴロウ」「ホタルの生息数と川の環境の変化」「水温と魚の種類」「ザリガニの生息域と他の生物との関係」「放棄された里山における希少植物の保護の在り方」「ドジョウの生息数と経年変化」これらの問題について、専門家を

交えて科学的計画を立案し、保全したいと考えています。

保全活動

里山の草刈りや植林、里海の海岸清掃はともにも多くの人出と労力を必要とします。

蛸島公民館や蛸島小学校といっしょにクロマツを植林していきます。小泊の保全林の草刈りは能登建設さんと共同で実施しています。小泊の田やビオトープ周辺では金沢から農村ボランティアの方がきて草刈りをして下さいました。海岸清掃は、これまでに宝立小中、直小、正院小、蛸島小、みさき小、大谷小中の各校が参加し、ゴミの種類と重量について測定しながら、プラスチックごみについて関心を持ってもらえるようにしています。



これら
の保全活動
はすべてボ

ランティアで行われているのですが、このままで良いとは思っていません。自然環境を守るために何か良い方法がないか、みんな考えてほしいと思います。

教育活動

田んぼの生き物と川の生き物の違いを考えたり、同じ田んぼでも季節による生き物の違いを比べて、生き物の形からどんな生活を送っているのか推測したりしています。そんな児童の疑問や観察したことを、11月に開催した「生き物観察会」で報告してもらいました。



宝立小中学校の生徒が、保全した里山と放棄された山林の違いを比べたり、緑丘中学校の生徒が、野鳥が巣箱を利用していることを学習したりしています。

今後は専門の方々とは相談して、小学生から大人までが学べる環

境教育プログラムを確立できれば良いなと思っています。

自然資源を活用した

産業育成

里山の自然を仕事や産業育成に結びつけるのも大きな目標です。里山の間伐した木にシイタケを植え商品化しています。また、ジュンサイを収穫・販売して保全作業の費用としています。無農薬の米も販売しています。今後は、山菜やきのこの収穫、自然の恵みを活かしたツーリング、飲食など、若い人が仕事としてやっていくような新しい産業を興すきっかけになれるよう努力していきます。

情報発信

今は里山里海の魅力を発信できる時代です。里山里海の「景観」「恵み」「住む人の魅力」「良さ」を仕事に結びつけ、多くの若者が生業として住み続ける事ができる能登にしていきたいような情報を発信していきたいです。



・おらっちゃんの里海調査 昨年に続き三崎町小泊の海で、はだか網（ミニ地引網）による海の生きもの調査を実施しました。お天気や

調査などその他活動

保全活動・調査など その他事業

波と相談しながら、4月〜10月までで計9日、網を入れることができました。この里海調査には、宝立小中学校と飯田小学校3年生親子会が、それぞれふるさとを知る学習の一環で参加してくれました。タナゴやフグ、メバルなどのほかタコやアメフラシなども獲れて、みんな歓声を上げていました。

・おらっちゃんの里山を知る 里山を学習するため、今年も小泊保全林に、宝立小中学校と緑丘中学校の生徒が来てくれました。保全林を散策しながら、植物のこと、樹木のこと、鳥のことなどを学び、私たちNPOが行っている自然環境を守る活動についてお話ししました。

・その他活動 地域の環境調査として外来生物のアメリカザリガニの調査を年3回、トキのエサとなるドジョウの繁殖調査を年4回実施しています。また、ため池に自生しているジュンサイの採取や耕作放棄地での小豆の栽培など、少しでも売り上げにつなげて保全活動に活用しています。



今年も珠洲市から受託し、市内9校の小学3年生を中心に「珠洲の里山生きもの観察会」を実施しました。各校2回ずつの田んぼや川、池などでの野外観察を経て、11月18日（水）にラポルトずずで報告会を行いました。今年度は、コロナ対策で急きよYoutubeでのライブ配信を行うなど、新たな取り組みにも挑戦しました。

生きもの観察会

入会のご案内

おらっちゃんの活動に参加しませんか？

会員募集！

持続可能な里山里海の事業づくりに向けて、仲間を募集しています。

<正会員> 運営に携わり、毎月の定例会、1月の総会に参加できます。

年会費 個人 5000円 団体 30000円

<賛助会員> 活動を支援していただき、保全活動に参加できます。

年会費 個人 一口1000円 団体 一口5000円

ご支援のご寄付も受け付けております。

NPO 法人能登半島おらっちゃんの里山里海
理事長 加藤秀夫

〒927-1462 石川県珠洲市三崎町小泊33-7 金沢大学能登学舎1階

TEL・FAX 0768-88-2528

E-mail satoyamasatoumi2006@gmail.com



保全活動

2020年は、全世界が新型コロナウイルスに振り回される大変な年でした（今も継続中）。しかし、珠洲市では幸いにも感染者が一人も出なかったこともあり、私たちが実施する保全活動に延べ638人の方が参加してくれました。屋外での活動ですが、マスクの着用と手洗いは必須です。このままコロナが終息してくれることを願うばかりです。

冬はシイタケの収穫。保全林から切り出したホダ木に植菌した、「のと115」という肉厚でとっても美味しい能登ブランドのシイタケです。収穫したシイタケは乾燥シイタケとしても販売しています。観光客が激減した2020年は完売できるか心配しましたが、皆さんのご協力により年内になんとか売り切りました。

秋は、ビオトープのモチ米と小泊田んぼのコシヒカリの稲刈りです。毎年、金沢からいしかわ農村ボランティアの方たちが手伝

いに来てくれます。モチ米はハザ干して脱穀します。

イベントが軒並み中止になったので、NPO恒例の餅つきは一度も無しです。このため、あんに用に保全林の畑に植えた小豆も出番がありませんでした。私たちの活動は自然が相手です。コロナ禍であってもなくとも、草刈りや枝打ちなどをしないと、

山も畑も田んぼも荒れてしまいます。それはまた、海や川などの環境を守ることもつながります。今年も大勢の方の参加をお待ちしています。

勢の方の参加をお待ちしています。

編集後記：NPOの設立10周年を記念して作成したロゴマーク入りのTシャツと帽子を製作しました。そろいのユニフォームで活動に参加しましょう！2021年は、小泊保全林に木製のステージが完成します。みんなで森林浴をしながら、バーベキューなど楽しみたいですね。



2020年度保全活動		
日付	活動内容	参加人数
2月 3日	シイタケ収穫・乾燥	4名
2月 8日	小豆の選別	3名
2月 15日	ホダ木の移動	4名
2月 25日	シイタケ収穫・乾燥、ホダ木の切り出し	4名
3月 7日	シイタケホダ木の運搬	7名
3月 8日	クロマツ植林	24名
3月 14日	シイタケホダ木の運搬	6名
3月 21日	シイタケ菌入れ	7名
3月 28日	シイタケ菌入れ	4名
4月 2日	シイタケ収穫・乾燥	4名
4月 9日	乾燥シイタケづくり	5名
4月 11日	小泊田んぼの江堀	7名
4月 17日	乾燥シイタケづくり	5名
4月 22日	シイタケ収穫	4名
4月 25日	小泊田んぼの畦塗り、保全林整備	5名
5月 9日	保全林整備	5名
5月 16日	小泊ビオトープ畦塗り	6名
5月 23日	小泊ビオトープ田植え	11名
6月 6日	小泊ビオトープ畦草刈り	9名
6月 13日	小泊ビオトープ整備	4名
6月 23日	クリーンビーチ正院	54名
6月 27日	保全林整備	7名
6月 29日	クリーンビーチ三崎	35名
7月 4日	クリーンビーチ直	44名
7月 18日	小泊田んぼの畦草刈り	4名
7月 18日	シイタケホダ木の組み換え	4名
7月 23日	クリーンビーチ大谷	28名
7月 25日	小泊ビオトープ畦草刈り・電柵設置	6名
8月 22日	小泊田んぼの草刈り	2名
8月 29日	田んぼの草刈り	5名
9月 5日	ハザ用竹の切り出し	5名
9月 12日	ハザの組み立て	8名
9月 19日	小豆の消毒	2名
9月 26日	稲刈りとハザ架け(いしかわ農村ボランティア)	32名
10月 3日	能登建設と合同保全活動	77名
10月 17日	菊炭の山里づくり運動	178名
11月 14日	小豆のサヤぼり	5名
11月 21日	小豆のサヤぼり	3名
12月 15日	小豆のサヤぼり	5名
12月 19日	シイタケホダ木の移動	6名
	計	638名